第177回 伊丹市内企業の景気動向調査

＜調査対象＞　伊丹市内の主要企業150社　　＜調査期間＞　令和7年4月上旬～令和7年4月18日
＜調査方法＞　郵送によるアンケート調査方式　　＜調査対象期間＞　令和7年1～3月期
＜比較方法＞　景気動向については「直前期」、経営動向については原則として「前年同期」と比較
＜有効回答数＞　150社中　67社　（一般21、食料品工業7、商業8、建設業14、運輸業9、サービス業8）　回答率44.6%

調査結果

〔伊丹市内企業の経営動向について〕

産業別DI（景気動向指数）とは…それぞれの調査項目に対してプラス傾向（増加・好転など）の回答割合からマイナス傾向（減少・悪化など）の回答割合を差し引いたもの。

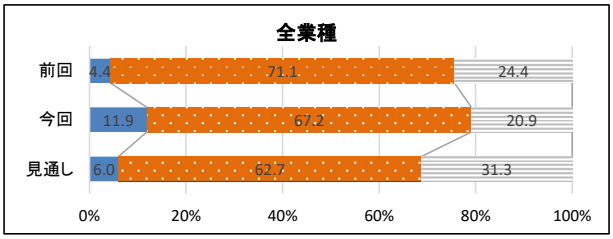
景況天気図	☀	🌤	☁	☂	🌧
	晴れ（好調）		くもり		雨（不振）
DI値	＋30	＋10		▲10	▲30

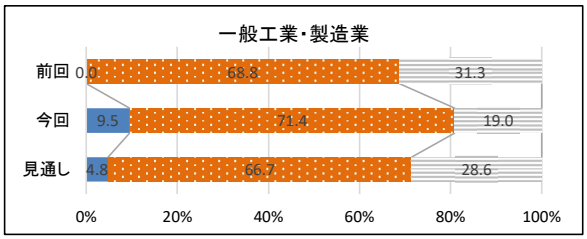
	業況		売　上		採　算		仕入単価		従業員	
全　業　種	☂	**▲ 14.9**	🌤	**16.4**	☁	**▲ 1.5**	☂	**▲ 82.1**	**かなり不足**	**32.8**
一　般　工　業	☁	▲ 9.5	☁	9.5	☁	9.5	☂	▲ 81.0	不足	23.8
食　料　品　工　業	☂	▲ 14.3	☀	57.1	🌤	28.6	☂	▲ 71.4	不足	28.6
商　業	☂	▲ 12.5	🌤	12.5	☁	0.0	☂	▲ 100.0	不足	12.5
建　設　業	☂	▲ 28.6	🌤	14.3	☁	▲ 7.1	☂	▲ 78.6	かなり不足	50.0
運　輸　業	☂	▲ 11.1	🌤	11.1	🌧	▲ 33.3	☂	▲ 100.0	かなり不足	55.6
サ　ー　ビ　ス　業	☂	▲ 12.5	🌤	12.5	☁☂	▲ 12.5	☂	▲ 62.5	不足	25.0

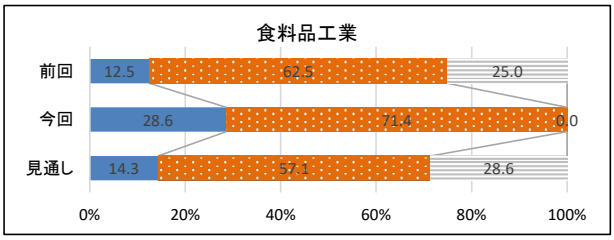
〔伊丹市内企業の景気動向について〕

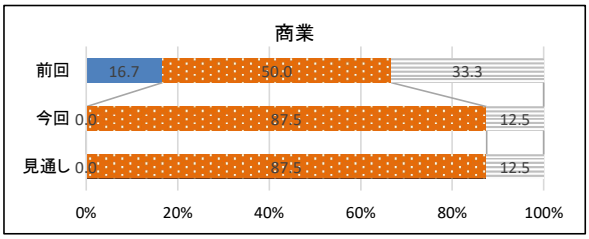
今回の調査結果（回答67社）によると、令和7年1～3月期の景気実績は「上昇」回答11.9%（前回4.4%）、「下降」回答20.9%（前回24.4%）、景気見通しは、「上昇」回答6%、「下降」回答31.3%となった。

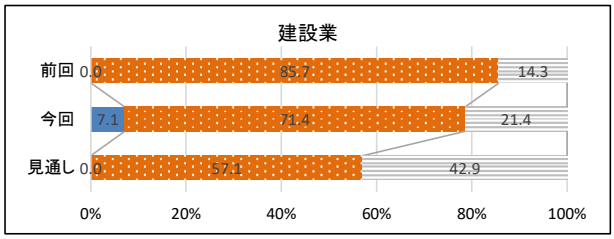
グラフの表示
■上　昇　■横ばい　■下　降

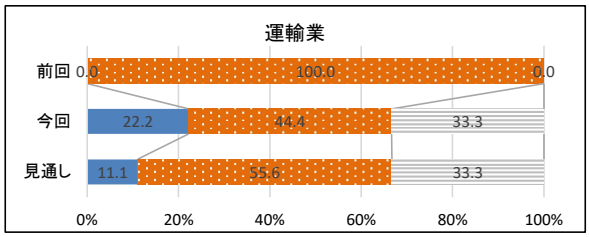


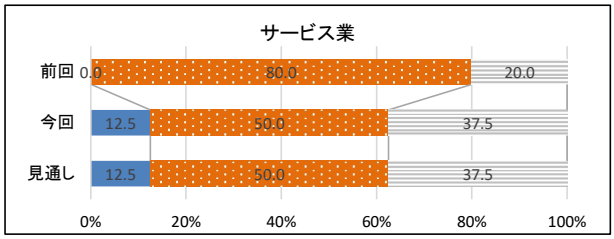








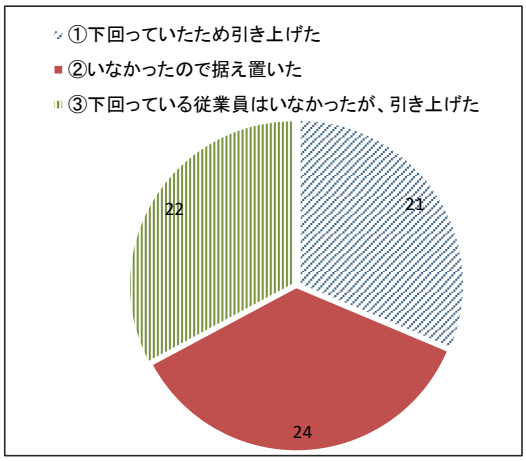




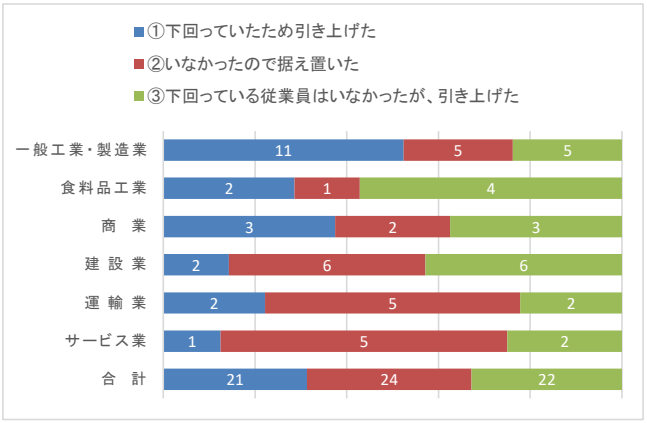
4. 2024年（10月1日より時給1,052円）に最低賃金を下回っている従業員はいましたか？（全体従業員数の過半数を基準に回答してください）

回答：①下回っていたため引き上げた
②いなかったので据え置いた
③下回っている従業員はいなかったが、引き上げた

＜全体＞



＜業種別＞



5. 新たな政府目標（2020年代に全国加重平均1,500円）に対し、対応は可能ですか？

	合計	サービス業	運輸業	建設業	商　業	食料品工業	一般工業・製造業
①対応可能	13	0	1	4	1	4	3
②対応は困難	36	7	5	7	3	3	11
③対応不可	18	1	3	3	4	0	7